

## 第5回秋田県心身障害者コロニーあり方検討会 議事概要

○日 時 令和6年1月30日（火） 13:30～15:00

○場 所 秋田県議会棟1階 大会議室

○出席者 委員11名、事務局（県、秋田県社会福祉事業団）

○議 事

### 議事 秋田県心身障害者コロニーのあり方検討会報告書案について

- ・家族アンケートの結果では、強度行動障害や医療的ケアが必要な利用者への対応が求められており、それらの要望が反映された報告書でありよいと思うが、その他に、近年の災害の多さを踏まえて、福祉避難所機能を持たせることが必要では無いかと感じる。
- ・介護サービスとの連携について、高齢者や強度行動障害を持つ人をコロニーのみで受け入れるのではなく、特別養護老人ホームや老健施設に入所してもらうということも意識的に進めるべき。県全体の特養等とも連携してはどうか。
- ・中核的施設の記載について、タイトルと本文の内容がほぼ同じであるため、具体的な役割の記載を盛り込めないか。
- ・運営主体の記載について、自主運営が原則ではあるが、秋田県としての役割、支援の仕方については記載をしなくてもよいか。
- ・新たな施設について具体的な建設場所や地域をもう少し明らかにできないか。
- ・【集中的支援のイメージ】において、例えば職員研修や広域的支援人材の配置等について県がバックアップしていくことは示されていることから、少なくともこのような内容については、県において実施することを表明しても良いのではないか。
- ・新しい施設について、レスパイトを行いつつ地域において強度行動障害を持つ人を支援をしていく施設とするのであれば、県北や県南にも同様の機能を持つ施設が必要になると考える。強度行動障害を持つ人を各地域の法人で受け入れていくということであれば、分散し支援を行うのか、ある程度集約して支援を行うのか、各法人に意見を聞きつつ検討する必要があるのではないか。
- ・設置主体について、新たな施設の整備については何らかの形では県が関与する必要はあると思う。県から国に移転改築のスキームについて問題は無いか確認を取ったうえで、施設整備の詳細を詰めていくことが必要。
- ・分散設置の方向性を打ち出してもらった点はよかったと思うが、施設定員は3桁を超えると大規模施設として扱われるため、1施設を100人程度の定員で想定している点は気にかかる。重度高齢化は非常に早いスピードで進んでいることから、施設がその受け皿になることを考えれば、1施設当たりの定員数を減らしつつ、分散し4施設を設置するというのも良いのではないかと思う。
- ・強度行動障害に対応した施設について、集中的支援を実施した後に利用者が在宅に戻ることは難しいと思うため、その後も障害者支援施設で安定して生活ができるようにしていくことが現実的と思う。
- ・全県域をサポートする役割を果たす施設ということは、きちんと示すべき。

・次年度以降の検討に関する記載について、例えば検討会の立ち上げというような具体的な内容を示してもらえればよいのではないか。

○その他

事務局より、今後の予定（県議会での説明、検討内容の公表等）について説明。